



ENEOS

2023年12月1日

各位

株式会社 ENEOS マテリアル

弊社製品に関する価格改定のメディア掲載につきまして

過日弊社製品価格の主原料及びユーティリティコストの価格フォーミュラにおける反映方法の変更につきましてメディアにて掲載されましたが詳細は以下の通りでございます。

記

1. 背景

主原料及びユーティリティのコスト変動を価格フォーミュラに基づいた計算値により価格改定を行って参りましたが、昨今のロシア、ウクライナ侵攻以降の世界的な LNG/石炭価格の高騰、需給環境の変化に伴い使用原料のスチレンモノマーやアクリロニトリルモノマーの値上げが実施されております。このような環境下では従来の反映方法との乖離が大きく自助努力では吸収仕切れず、製品の安定供給を続けるために価格フォーミュラの変更につきましてお取引様へお願いを実施させて頂いております。

2. 価格フォーミュラ改定概要

適用時期 2023年11月1日納入分より

	現行	変更
BD	BD市況 65% + ナフサ 35% 参照前提：BD 2四半期平均 ナフサ 四半期平均	BD市況 57.5% + ナフサ 42.5% 参照前提：BD 2四半期平均 ナフサ 四半期平均
AN	AN市況 100% 参照前提：四半期平均	AN市況 20% + AN原料 80% (アンモニア、ナフサ) 参照前提：四半期平均
SM	SM市況 100% 参照前提：四半期平均	SM市況 35% + SM原料 65% (ベンゼン、ナフサ) 参照前提：四半期平均
UTL	ナフサ x ポリマー毎係数 参照前提：四半期平均	LNG or LNG30% + 石炭70% x ポリマー毎係数 参照前提：四半期平均

以上